

ふるさと農園

春が待ちきれない農園

3月、春が待ちきれない農園です。

エンドウやそら豆の花が春を待ちきれずに咲いて



います。チューリップは芽を出し

暖かくなるのを待っています。タマネギ・ラッキョウ・ニンニクも一気に大きくなりたくと準備をし、生き生きとしています。じゃが芋の芽はまだまだ地中の温度が上がるのを待っているのか芽が出ていません。 S・O

会員だより

中欧4カ国

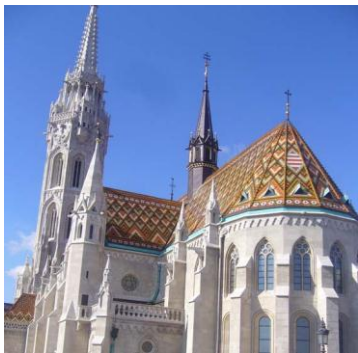
6つの世界遺産を巡る旅

寒さの残る2月下旬から3月初旬にかけて8日間出かけました。どの世界遺産も優劣つ

けがたいのですが、今回は特に印象深かった二カ国の感想を書いてみようと思います。ハンガリーはブダペストから旅は始まりましたが最初から大感動でした！世界で2番目に長いドナウ河をはさんでブタ側の岩盤の上に堂々とそびえる大きな王宮、それに続くマーチャーシュ教会はカラフルなモザイク模様の屋根で88 mの石塔が青空にそびえていました。内部に入ると6枚の鮮やかなステンンドグラスが外からの光を受けて見事でした。教会の裏側に、漁夫の砦、と呼ばれる5つの円錐形の塔を持つ回廊が続きます。ここからドナウ川を見下ろすと最初にブダとペストを結んだ、くさり橋が見えました。

橋を渡るペスト側にも素晴らしい建造物を見るのが出来ました。歴代英雄達の像が立ち並び、英雄広場、その中央には建国1千年記念碑の高さ35 mの円柱がそびえています。広場に面して数々の立派な美術館や博物館が立ち並んでいます。空気が冷たいけれど青空に白い雲がふんわり流れる快晴でした。ランチには早速、名物おふくろの味「グヤーシュ」パプリカのたっぷり入った野菜と牛肉の煮込みを美味しく頂きました。

念願のチェコに入ったら間もなく、チェコで最も美しいと言われる世界遺産都市「チェスキークルムロフ」に到着しました。期待通りとても情緒のあるおとぎ話の舞台のような可愛い町でした。旧市街の由緒ある古城ホテル「ルージェ」泊まり。外観は古城とは思えない白壁と窓の多い3階建てで屋根の色は、街中同じオレンジ色でした。ところが12畳位の部屋に入ると全て焦茶色で木製の家具で素敵でした。白壁には2枚の絵画とアートワーク・タペストリーが飾られていました。残念ながらこのホテルは一晚でしたので、荷ほどき前に大急ぎで写真を撮るパチパチと撮りました！明るい内の到着で夕食まで時間が有り、早速徒歩4、5分の広場や周りの景色を眺めに出かけました。広場のまわりにカラフルなパステルカラーの家々（レストランやホテル）があり、遠くにお城と塔が見えて、足元を見下ろすと川に沿って立ち並ぶオレンジ屋根と白壁の家々が冬枯れの木々と相



ベントの大型観光バスでは、皆様一人で2座席に足を伸ばして横座りしたり縦座りしながら西へ北へと陸続きの国境をスロバキア・オーストリアへと観光し宿泊して移動し、

まつて夕方の風情ある趣きです。町全体が世界遺産（92）に登録されたそう、納得！翌朝、ボヘミア地方ではプラハ城に次ぐ大きさというチェスキー・クルムロフ城を見物しました。中庭を5つ通り抜ける広さです。城の塔167段を登りそこから見下ろす旧市街は蛇行するヴルタヴァ川にすっぽり囲まれて素晴らしい眺めです。私達のホテルもはつきり見えました。その後は自由散策、お城から広場までのメインストリートは細い石畳で両側にお土産屋が連なっています。名産地というアメジストのお店が多くありました。あまり好きな石ではないけれど誕生石だし自分とついでに娘の小さなグロ



カメラは友達



結城神社の枝垂れ梅

見上げれば青空に広げた日傘のように！ 離れて眺めれば放物線を描く滝のように！ 近寄れば地に届く光の筋のように！ 春を待ちわび優雅に豪華に咲き乱れる

津市結城神社梅園

S・N

いちを買いました。旅の思い出の一つだけ買う習慣です。いずれそれらを眺めて旅の感動を思い起こすことでしょう。 K・N